

松戸市長選挙は6月15日投票・開票 混迷する市政の将来を決める重要な選挙です

松戸市長選挙が6月8日告示、15日投開票で行われます。予想では、現市長本郷谷氏と前市長の川井敏久氏の一騎打ちの構図に、自民推薦候補が加わるといふ様相。失政が続く厳しい立場の本郷谷市長に対し、実績を掲げて猛追する川井敏久前市長。混乱つづきの市政ですが、これから4年間の舵取りを誰に託すのか。重要な選挙となります。



復帰が望まれる川井敏久前市長とガッチリ握手

新京成沿線の駅で毎朝演説しています!

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝、どこかの駅で街頭演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台。そのどこかでお見かけの際は、ぜひお声がけください。みなさんからの声援を励みにがんばります! 市政への要望なども、どうぞお伝えください!



先月から本紙配布開始のみのり台駅でも演説です

地域医療・介護確保法案が衆院本会議で可決 介護保険の適正運用で高齢者の生活を守れ!

予算が膨らみ続ける介護や医療のサービス提供のあり方を見直すためとして、いわゆる「地域医療・介護総合確保推進法」が衆院本会議で可決されました。今回の法律では、要支援1・2の一部サービスを市町村の事業に移すことや、所得に応じて負担割合を1割から2割に引き上げるなどが盛り込まれています。そのため、高齢者が必要とし、受けられるサービスに格差が生まれてしまうなどの心配が広がっています。

みのわ信矢は、介護保険が導入された当初から、介護事業所の運営者として高齢者の生活向上に取り組んできました。そして今回の介護見直しによって、市町村は、高齢者の充実した生活に対して、さらに高い意識が求められると思います。厚労省はサービスの質を落とさないために、既存の事業者、民間企業、NPO、ボランティアなどの参入を想定しているといえます。しかし、介護保険のサービス提供の主体者はあくまでも自治体です。人まかせの無責任な事業展開にせず、使命感をもったさらなる取り組み、市に求めています。

松戸市議会議員選挙 11月16日投票 日程が決定しました

松戸市議会議員選挙が、11月9日告示、16日投開票に決まりました。引き続き厳しい市の財政状況、いまだ移転先も決まらない松戸市立病院問題などなど。松戸市に横たわる問題はつきません。今こそ、高齢者から子ども達まで全ての市民が安心して毎日を過ごし、誇りを持てる松戸を再生しなければなりません。みのわ信矢は、これまでの2期の議員としての経験を最大限に生かし、3期目に向かって活動します!



みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生れ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業
家族構成 妻と子ども2人の4人家族

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師(地方自治論)
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長
- ◇常盤平中学校PTA 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏(エレキギター)、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部